

日本資本主義の父、渋沢栄一



画像提供／中央区立郷土資料館



画像提供／中央区観光協会

渋沢は1873年に日本で初めてとなる銀行「第一国立銀行(現:みずほ銀行(日本橋兜町4-3))」を創設し開業しました。銀行を設立したのは、日本経済がこれから発展していくためには産業に対する融資が欠かせないと考えていたからです。

また、1878年に、人々が株式を用いてスムーズな資金調達を可能にするため、現在の「東京証券取引所(日本橋兜町2-1)」の前身である、日本で初めての公的取引所となる「東京株式取引所」を創設しました。

渋沢は、現在の日本橋兜町の地において、日本経済に「銀行制度」と「株式会社制度」を普及させ、経済の礎を築くとともに、現在「日証館(日本橋兜町1-10)」が建つ場所に自宅・事務所を構えるなど、その縁はとても深いです。

生涯大切にした縁起石「佐渡の赤石」



縁起石「赤石」

画像提供／中央区観光協会



渋沢翁等身大オブジェ

画像提供／中央区観光協会

この赤石は、1888年に渋沢が日本橋兜町に邸宅を建てた際に、日本経済の繁栄を祈念した縁起石として設置され、自らがこの赤石を触り、起業・創設に関わった会社の成功や日本近代経済の発展を祈りました。

渋沢が生涯愛し大切にしていた赤石は、現在、「KABUTO ONE(日本橋兜町7-1)」1階アトリウムに渋沢栄一像と併せて設置されています。直接「赤石」に触れて願いをかけたり、渋沢と一緒に写真を撮ることができますので、ぜひ、お出かけください！